

水素ステーション導入に向けた分科会

代表者 兼 コーディネーター：愛媛大学 大学院理工学研究科教授 中原 真也 教授

会員数：15団体

(株)伊予銀行、(株)いよぎん地域経済研究センター、(株)伊予鉄グループ（伊予鉄バス(株)）、(株)愛媛銀行、愛媛大学（工学部附属環境・エネルギー工学センター）、愛媛トヨタ自動車(株)、(株)オオノアソシエーツ、四国ガス(株)、四国電力(株)、太陽石油(株)、(株)谷グリーンエネルギー研究所、帝人(株)、松山市、松山商工会議所、三浦工業(株)

オブザーバー：愛媛県、四国経済産業局

設置の目的	水素社会実現に向け、水素エネルギーの需要が見込めるFCV等モビリティを普及させるため、松山市内に水素ステーションの導入を目指す。
目指すゴール	<p>【環境】脱炭素社会の実現 【社会】3E+S、防災力の強化 【経済】産業競争力の活性化</p> 

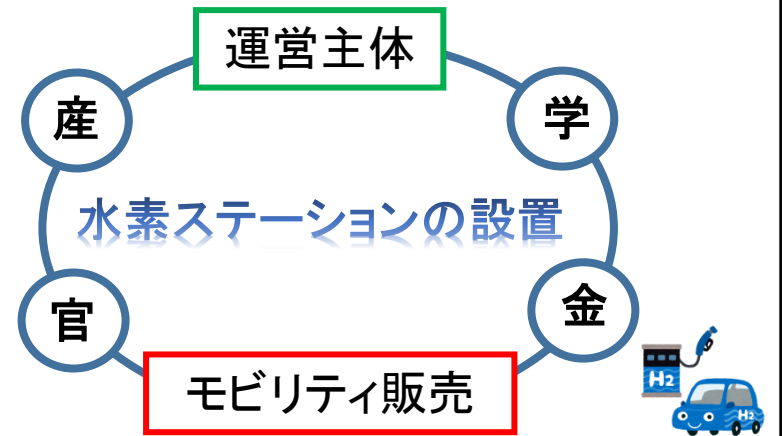
分科会での活動内容と期待される成果

「活動内容」

- 水素ステーションの設置
 - 費用面（設置、維持管理）等、課題や問題点の整理
 - 設置場所、スケジュール等の決定
- FCV等モビリティの普及
 - 販売店や需要量の拡大
- 松山市水素ロードマップの作成
 - 2030年、2050年の目標



各ステークホルダーの役割を明確化し、連携することで、松山市内での水素ステーションの設置を目指す。



ゴール達成に向けた指標	<p>【環境】温室効果ガス削減・・・水素ステーションでの水素供給量 (Nm³) など</p> <p>【社会】水素インフラの整備・・・水素ステーションの設置 (箇所) など</p> <p>【経済】水素需要の増加・・・FCV販売台数 (台) など</p>
-------------	--